

太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(まちづくりビジョン)を策定しました！

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)

基本的な考え方

新元号に大きなご縁をいただき「令和発祥の都」となった太宰府市が大きく羽ばたき、我が国そして地方の牽引役としてふさわしい役割を果たすべく、本市ならではの戦略を策定しました。

キーコピー

『令和発祥の都 羽ばたく太宰府 -4つの構想と戦略-』

「歴史と文化とみどりのまち」「学問のまち」「福岡都市圏のベッドタウン」「交通の要衝」を本市の4つの特徴として捉え、強み、弱みを検証し、課題解決の方向性として「太宰府の底力総発揮構想」「太宰府型全世代居場所と出番構想」「令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想」「1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想」の4つの構想を打ち出しました。

これを言い換えると、観光産業や民間活力の活用を始めとした成長戦略、全世代の生活支援による移住定住戦略、超広域連携による圏域拡大戦略、持続可能性を追求した行財政改革戦略という4つの戦略で、これらを有機的、複合的、総合的に組み合わせることで本市の歳出入一体改革を成し遂げ、令和発祥の都太宰府にふさわしい更なる飛躍を図るものです。

太宰府市の特徴

太宰府市の特徴	強み	弱み
歴史と文化とみどりのまち	・多数の観光客(年間1,000万人) ・「令和発祥の都」、旅人をはじめ豊富なコンテンツの素材	・交通混雑問題 ・製造業の進出が少ない ・住宅造成が困難 ・規制が多い ・高齢化
学問のまち	・菅原道真公の威光 ・若者による活気 ・教育の充実の契機	・税収増につなげにくい
福岡都市圏のベッドタウン	・人口の維持 ・域外雇用による税収	・市民の帰属意識、地域参画意識が低い ・子ども世代の都市部への流出(高齢化・空家)
交通の要衝	・高い利便性	・慣性的な交通混雑 ・拠点機能の分散、旧市街地の空洞化

4つの構想
踏まえ打ち出した
太宰府市の特徴

4つの構想

- 基本目標1** 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)
- 基本目標2** 太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)
- 基本目標3** 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想(圏域拡大戦略)
- 基本目標4** 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)

基本目標1 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)

1. 基本的方向

太宰府市は太宰府天満宮を始めとする名所や、令和発祥の地となった大宰府政庁跡などの価値ある史跡、5つもの大学・短大など他市を圧倒する多くの歴史的文化的資源を有し、活気ある福岡市のベッドタウンにも位置する魅力あふれる都です。民間活力の活用を始めあらゆる手段を知恵を駆使して総結集し、本市が本来の底力を遺憾なく発揮することで、「令和発祥の都」としてさらに羽ばたき、我が国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たします。

2. 主な取組

- | | |
|--|--|
| (1) 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進
回遊ルート、滞在向け施設、滞在型コンテンツ(コト消費)の充実など | (5) 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化
各種関連団体との連携 |
| (2) 地場みやげ産業の創出
地域の特産品を活かした特産品等の検討 | (6) 官民連携・庁内連携・機構改革の推進
庁外・庁内連携、産官学等連携による経営方針の共有など |
| (3) 観光セールスプロモーションの促進
地域観光活性化団体の設立など | (7) 人材育成・登用
多様な人材の確保、時代に即した人材の育成など |
| (4) 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成
企業・創業支援事業の拡充、ICT教育産業等の活性化など | (8) ふるさと納税の拡充
プロジェクト型ふるさと納税の充実、企業版ふるさと納税の活用など |

基本目標に係る数値目標

数値目標	(H30)	(R6)
個人市民税納税者数	34,041人	→ 37,000人
法人市民税納税法人数	1,512法人	→ 1,650法人
域内付加価値額	47,713百万円	→ 50,000百万円

基本目標に係る数値目標

数値目標	(H30)	(R6)
子育てをしやすいと感じる保護者の割合	70.5%	→ 75.0%
生きがいを感じている高齢者の割合	76.9%	→ 80.0%

基本目標2

太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

1. 基本的方向

太宰府市は近隣に比べ高齢化率が高く、一方で学生が多く集う市でもあります。また活力ある福岡市のベッドタウンであり、令和効果により居住意欲度も上昇中で、子育て世代の自然増や社会増も期待できます。こうした現状を踏まえ、かつてこの地が舞台となった万葉集の精神にもならない、全世代が居場所と出番を持てる本市ならではの心温まるまちづくりを進めることで、日本一住みやすく世界一元気な都を目指します。

2. 主な取組

- | | |
|--|---|
| (1) 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化
市民参加のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化 | (7) ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興
文化芸術への市民参画、歴史、文化、芸術の観光交流への活用など |
| (2) 子育て・教育環境の充実
先進的な教育環境等の整備・充実、保育サービスの充実など | (8) スポーツ振興
太宰府市スポーツ推進計画の策定など |
| (3) 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充
関係団体等との連携強化、バリアフリーなまちづくりなど | (9) 空家活用の推進
空家予防、適切な管理の促進、空家等を流通させる仕組みづくりなど |
| (4) 健康寿命の延伸
がん検診、特定健康診査の受診率向上、介護予防の充実など | (10) 全世代交流型施設の検討
全世代交流型施設の検討 |
| (5) 就職氷河期世代対策
就職氷河期世代対策 | (11) 人権尊重のまちづくりの推進
人権尊重のまちづくりの推進 |
| (6) 不登校、ひきこもり対策
不登校、ひきこもり対策 | |

基本目標3

令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想(圏域拡大戦略)

1. 基本的方向

太宰府市は太古から世界・アジアの玄関口として、我が国・西日本・九州の政治・外交・防衛の要衝として栄えた歴史を持ち、当時の大宰帥大伴旅人による梅花の宴の様子を描いた万葉集より新元号令和が生まれました。時空を超えてこの地を捉え直し、令和発祥の都にふさわしい大きな視点で史跡の維持保存・活用や国際交流、地域間連携を考えることで、交流人口、関係人口の拡大による経済効果上昇や交通手段の充実に踏み出します。

2. 主な取組

- | | |
|---|---|
| (1) 史跡指定100年とこれからの保存・活用
大宰府関連史跡保存活用計画の策定と改訂、整備・再整備の推進 | (3) 交流人口・関係人口の拡大
太宰府市にゆかりのある方、これから関わる方との関係づくりなど |
| (2) 国・県・国内外自治体との連携の推進
各種自治体との連携 | (4) 交通環境の向上
移動手段の充実、交通大動脈形成など |

基本目標に係る数値目標

数値目標	(H30)	(R6)
住みやすいと感じる市民の割合	71.4%	→ 80.0%

基本目標4

1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)

1. 基本的方向

令和発祥の都太宰府が歩んできた1300年を超える国際的、文化的都市としての悠久の歴史に思いを致し、次なる1300年後までその時の流れと令和の慶びを伝えていくため、本市ならではの防災力の強化、市街地の活性化、公共施設や諸団体などの再編、見直し、地域コミュニティの強化・再編、ごみ減量を始める環境負荷低減、ICT活用などによる行財政改革を進め、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

2. 主な取組

- | | |
|--|--|
| (1) 防災力の強化
災害シミュレーションの作成、市民参加の防災訓練の実施など | (5) 地域コミュニティの強化、再編
地域コミュニティの強化、再編 |
| (2) 市街地の活性化
エリアごとの戦略に基づいたまちづくりなど | (6) ごみの削減を始めとする環境負荷低減
ごみの削減を始めとする環境負荷低減 |
| (3) 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し
公共施設再編、運営の見直し、指定管理者制度の見直しなど | (7) ICTの活用推進、働き方改革
ICTを活用した市民サービスの利便性の向上、働き方改革など |
| (4) 諸団体の強化、再編、補助金等改革
諸団体の強化、再編、補助金等改革 | (8) 持続可能なまちへの取組
将来の方向性の検討 |

計画の全文と概要版を市ホームページに公開しています。